

3 兵庫県農林水産情報システムの概要

この度、農林水産業経営者の経営管理能力の向上、農山漁村の活性化を支援するため、兵庫県農林水産情報システム（以下情報システム）が整備された。これは、農林水産部で蓄積された膨大なデータを処理し、インターネットを通じて発信・受信するとともに、県庁WANを通じて農林水産部内職員が情報を共有・活用するシステムである。

1 情報システムの構成

このシステムは利用媒体でみると大きく二つに分かれている。一つはインターネットを使って県民に「農」に関する総合的な情報を広く受発信するホームページ「ひょうご食と農の情報センター」であり、もう一つは県庁WANを活用して農林水産部内の情報を共有・蓄積し、あるいは普及活動の効率化を図るイントラネットワークシステムである。

ひょうご食と農の情報センター（一般公開）

ホームページ「ひょうご食と農の情報センター」を通して県民に対して農業技術・経営や産地に関する情報を提供するとともに、県民からの意見を収集する。

ニュースコーナーでは最新の農政情報や地域イベントのほか、ひょうご安心ブランド農産物や県民か

らのお便りが紹介される。公開データコーナーでは普及現地からの農産物、産地の情報や農業関係補助事業制度が紹介される。農業経営支援ニュースコーナーでは、気象情報や経営支援ニュースのほか、青色申告書のデータを使った簡易経営診断プログラムにより農業者自ら経営診断が行えるシステムを備えている。

農林水産部情報共有・蓄積サイト（農林水産部内）

農林水産部内の職員がこれまで蓄積した技術・経営情報などをデジタル化して共有し、農業経営の改善に役立てる。

農業改良普及職員専用サイト（普及センター内）

普及センターにおいて日々の普及活動の情報を記録・共有し、普及活動の効率化や向上を図る。

2 情報システムの活用

4月に農林水産部の職員に対する操作研修が実施され、5月の試験運用を経て6月12日から本格的に稼働している。今後、このシステムを活用して農業者への支援がより効率的、効果的に行われることが期待されている。

三浦 豊彦（部長（普及担当））



図 食と農の情報センタートップ画面